

## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社 プロトコーポレーション  
コード番号 4298 URL <https://www.proto-g.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 健司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鈴木 毅人

TEL 052-934-2000

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	27,220	14.4	2,231	7.2	2,755	31.2	1,808	29.3
2023年3月期第1四半期	23,784	74.1	2,082	16.9	2,100	12.6	1,398	38.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,192百万円 (116.5%) 2023年3月期第1四半期 1,012百万円 (57.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	44.97	
2023年3月期第1四半期	34.80	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	62,164	45,010	71.8
2023年3月期	60,553	43,515	71.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 44,637百万円 2023年3月期 43,184百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		17.50		17.50	35.00
2024年3月期(予想)		17.50		17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,400	3.2	3,350	7.1	3,340	9.0	2,290	4.6	56.92
通期	109,380	3.6	7,740	5.5	7,730	11.0	5,340	20.7	132.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	41,925,300 株	2023年3月期	41,925,300 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,704,307 株	2023年3月期	1,704,227 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	40,221,033 株	2023年3月期1Q	40,195,303 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で個人消費の持ち直しも継続しており、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇の影響に十分注意する必要があります。

こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、半導体をはじめとした部品の供給不足が徐々に緩和されてきており、新車販売台数は前年実績を上回る水準で推移いたしました。また、中古車登録台数についても、新車の供給不足緩和の影響により、前年を若干上回る水準で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、多様化するユーザーニーズや今後の市場環境を踏まえて策定した「中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期)」に基づき、当社が保有するマスター、AI技術及びデータを掛け合わせることで、モビリティ領域のDXに寄与する新商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、27,220百万円(対前年同期比14.4%増)となりました。増収となった主な要因は、基幹事業であるプラットフォーム事業が堅調に拡大したことに加え、コスミック流通産業株式会社におけるチケット販売事業が拡大したことによるものであります。営業利益は、「MOTOR GATE」を中心としたプラットフォーム事業に関連するDX商品の提供が堅調に推移したことによる影響などにより、2,231百万円(対前年同期比7.2%増)となり、経常利益は、為替相場の変動により、為替リスクを回避するために行っていた通貨オプション取引に含み益が発生したことによるデリバティブ評価益を計上したことが影響し、2,755百万円(対前年同期比31.2%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記のデリバティブ評価益の計上があったことが影響し、1,808百万円(対前年同期比29.3%増)となりました。

#### ②セグメント別の概況

事業のセグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

##### (プラットフォーム)

モビリティ業界No.1のサービスプラットフォームの構築を目指し、各事業領域におけるシェアの拡大並びに顧客当たりの取引単価の維持・拡大に努めるとともに、モビリティ領域のDXに寄与するサービスの強化に取り組んでまいりました。

中古車領域においては「グーネット」のコンテンツ量最大化、「グーネット」のバックグラウンドシステムである「MOTOR GATE」の提供及び機能向上を通じた取引拠点数の拡大並びに中古車販売店の経営支援に取り組んでまいりました。整備領域においては「グーネットピット」におけるコンテンツの拡充に加え、入庫管理システム「MOTOR GATE PIT IN」の提供、新車領域においては引き続き「DataLine SalesGuide」の拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は7,767百万円(対前年同期比5.5%増)となりました。増収となった主な要因は「MOTOR GATE」を中心とするプラットフォーム事業におけるDX商品の提供が堅調に推移したことによるものであります。営業利益につきましては、上記のプラットフォーム事業の伸長により2,430百万円(対前年同期比4.4%増)となりました。

##### (コマース)

タイヤ・ホイール等の販売は、引き続き、主要取扱ブランドの販売強化に取り組むとともに、当社の「グーネット」、「グーネットピット」、「MOTOR GATEショッピング」等とのシナジーを追求することで販売機会の拡大に努

めてまいりました。また、コスミック流通産業株式会社及びコスミックGCシステム株式会社についても、当社の保有するインターネットビジネスにおけるノウハウを提供することで、商品券やギフト券等の販売機会の拡大に努めてまいりました。以上の結果、売上高は17,316百万円（対前年同期比13.7%増）、営業利益は163百万円（対前年同期比51.4%増）となりました。

(その他)

前第2四半期連結会計期間に沖縄バスケットボール株式会社の株式を取得し、同社及び同社の子会社である沖縄アリーナ株式会社及び沖縄スポーツアカデミー株式会社を連結の範囲に含めたことなどにより、売上高は2,136百万円（対前年同期比80.1%増）、営業利益は137百万円（対前年同期比11.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は62,164百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,610百万円の増加となりました。資産、負債及び純資産の状況につきましては、次のとおりであります。

i 資産

流動資産につきましては、コスミック流通産業株式会社における商品力強化を目的とした商品仕入の増加に伴う棚卸資産の増加などから、40,374百万円となり、前連結会計年度末と比較して、837百万円の増加となりました。

固定資産につきましては、プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合におけるベンチャー企業支援を目的とした株式の取得及び時価評価に伴う投資有価証券の増加などから、21,789百万円となり、前連結会計年度末と比較して、773百万円の増加となりました。

ii 負債

流動負債につきましては、株式会社タイヤワールド館ベストにおける商品仕入の増加に伴う仕入債務の増加などにより、15,662百万円となり、前連結会計年度末と比較して、123百万円の増加となりました。

固定負債につきましては、株式会社オートウェイ及び株式会社プロトソリューションにおける借入金の返済に伴う長期借入金の減少などにより、1,491百万円となり、前連結会計年度末と比較して、7百万円の減少となりました。

iii 純資産

剰余金の配当が703百万円発生した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益1,808百万円の計上により、純資産は45,010百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,494百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ概ね当初計画通りに進捗していることから、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございませんが、今後の進捗状況等に応じ、精査の上、開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

なお、業績見通しは、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算定しておりますが、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績等は大きく異なる可能性があることをご了承ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,739	23,487
受取手形及び売掛金	6,107	5,219
棚卸資産	7,669	8,513
その他	2,025	3,160
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	39,537	40,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,729	5,683
土地	5,590	5,590
その他（純額）	758	758
有形固定資産合計	12,078	12,032
無形固定資産		
のれん	2,365	2,310
その他	1,858	1,882
無形固定資産合計	4,224	4,193
投資その他の資産		
投資有価証券	2,367	3,263
その他	2,404	2,359
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	4,712	5,563
固定資産合計	21,016	21,789
資産合計	60,553	62,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,191	3,466
短期借入金	3,600	3,900
1年内返済予定の長期借入金	123	99
未払費用	2,693	2,729
未払法人税等	1,160	978
契約負債	37	38
賞与引当金	210	261
商品保証引当金	16	15
その他	4,505	4,172
流動負債合計	15,538	15,662
固定負債		
長期借入金	529	511
役員退職慰労引当金	256	261
退職給付に係る負債	135	142
資産除去債務	343	348
その他	234	228
固定負債合計	1,499	1,491
負債合計	17,038	17,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,849	1,849
資本剰余金	2,070	2,070
利益剰余金	40,139	41,250
自己株式	△1,260	△1,260
株主資本合計	42,799	43,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	396	742
為替換算調整勘定	△11	△14
その他の包括利益累計額合計	385	727
非支配株主持分	330	372
純資産合計	43,515	45,010
負債純資産合計	60,553	62,164

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,784	27,220
売上原価	17,074	19,902
売上総利益	6,709	7,317
販売費及び一般管理費	4,627	5,085
営業利益	2,082	2,231
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	2
持分法による投資利益	0	0
為替差益	29	50
デリバティブ評価益	—	418
その他	14	65
営業外収益合計	46	538
営業外費用		
支払利息	3	2
投資事業組合運用損	11	9
デリバティブ評価損	8	—
その他	3	4
営業外費用合計	28	15
経常利益	2,100	2,755
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	11	—
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	21
特別損失合計	1	21
税金等調整前四半期純利益	2,110	2,734
法人税、住民税及び事業税	750	962
法人税等調整額	△38	△78
法人税等合計	711	884
四半期純利益	1,399	1,850
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,398	1,808



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,399	1,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△379	345
為替換算調整勘定	△7	△3
その他の包括利益合計	△386	342
四半期包括利益	1,012	2,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012	2,150
非支配株主に係る四半期包括利益	0	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プラット フォーム	コマース	その他	計		
売上高						
メディア	5,925	—	—	5,925	—	5,925
サービス	1,439	—	—	1,439	—	1,439
物品販売	—	6,544	—	6,544	—	6,544
チケット販売	—	8,688	—	8,688	—	8,688
その他	—	—	1,147	1,147	—	1,147
顧客との契約から 生じる収益	7,364	15,233	1,147	23,745	—	23,745
その他の収益(注)3	—	—	38	38	—	38
外部顧客への売上高	7,364	15,233	1,186	23,784	—	23,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	0	485	499	△499	—
計	7,379	15,233	1,671	24,283	△499	23,784
セグメント利益	2,328	107	123	2,559	△477	2,082

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△10百万円、全社費用△466百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等であり、ります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コマース」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にコスミック流通産業株式会社の株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は1,082百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「コマース」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にコスミックGCシステム株式会社の株式を取得し連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、11百万円であります。

3 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、コスミック流通産業株式会社及びコスミックGCシステム株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたことで、「コマース」のセグメント資産が前連結会計年度末と比較して、3,582百万円増加しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プラットフォーム	コマース	その他	計		
売上高						
メディア	6,309	—	—	6,309	—	6,309
サービス	1,457	—	—	1,457	—	1,457
物品販売	—	7,166	—	7,166	—	7,166
チケット販売	—	10,150	—	10,150	—	10,150
その他	—	—	2,096	2,096	—	2,096
顧客との契約から 生じる収益	7,767	17,316	2,096	27,180	—	27,180
その他の収益(注)3	—	—	39	39	—	39
外部顧客への売上高	7,767	17,316	2,136	27,220	—	27,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	0	453	469	△469	—
計	7,784	17,316	2,589	27,690	△469	27,220
セグメント利益	2,430	163	137	2,731	△499	2,231

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△2百万円、全社費用△497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。